



大阪大学名誉教授 / 特任教授

天野 敦雄 先生

1984 年 大阪大学歯学部 卒業
1992 年 ニューヨーク州立大学歯学部
博士研究員
1997 年 大阪大学歯学部附属病院
障害者歯科治療部 講師
2000 年 大阪大学大学院歯学研究科
口腔分子免疫制御学 教授
2011 年 同 予防歯科学 教授
2015 年 大阪大学
歯学研究科長・歯学部長
2021 年 日本口腔衛生学会 理事長
2024 年 大阪大学名誉教授、特任教授
2025 年 健口（けんこう）あまの 代表

天野先生の
ペリオ講座

新常識が
まるわかり

本セミナーでは、歯周治療の本質を学術的背景から臨床応用まで体系的に再確認することを目的とし、長年にわたり歯周病学の研究・教育・臨床に携わってこられた天野敦雄先生をお迎えいたします。

歯周病因論の変遷、感染のコントロールに関する最新の知見、さらに歯周病が全身に及ぼす影響について、現時点で歯科医療従事者が必ず理解しておくべき視点を、分かりやすく、かつ学術的根拠に基づいてご講演いただきます。

日常臨床に追われる中で見落とされがちな「なぜ歯科衛生士の仕事が大事なのか」、「何を根拠に判断するのか」「SPT においてのプロケアとは手技だけではなくどのような問診、OHI を行うのか」など改めて問い直す機会となるセミナーです。

mint-seminar 特別講演会

THE ペリオ

残席わずか!

2026

9/27 日
11:00~16:00

会場 千里ライフサイエンスセンター 5F
山村雄一記念ライブホール（大阪府 千里中央駅すぐ）

対象 歯科医師、歯科衛生士

受講料 ¥13,200（税込）※昼食つき



歯周病菌は常在菌です。常在菌は追い出せません。だから歯周病は再発するのです。なぜ歯周病が起こるのか？歯周治療はどうすればいいのか？

「防ぎ守る」メンテナンスはどうすればいいのか？まるわかりしましょう。

磨き残された古いバイオフィームでは dysbiosis（高病原化）が始まります。ポケットから出血が始まると、血液中のタンパク質と鉄分に歯周病菌は狂喜乱舞。バイオフィームの病原性はど〜んと高まります。

歯周治療の目標は dysbiosis の解消。そのための歯周治療をお話しさせていただきます。これからの歯科は口腔健康管理。メンテナンスに必要なプロケアと OHI の知識をご紹介します。

- 1 バイオフィームの歯周病原性：バイオフィームを見分ける
- 2 歯周病発症の時：なぜバイオフィームは高病原化するの？
- 3 歯周病の治療：悪玉菌だけを減らす
- 4 患者も主治医：コーチング OHI
- 5 防ぎ守る歯周管理：ケア商品、食品、女性ホルモン

11:00~12:30	歯周治療の変遷と歯周病因論 — 感染に関する最新の知見を踏まえて —
12:30~13:30	昼食休憩
13:30~15:00	歯周病が全身に及ぼす影響 — 長期メンテナンスにおける歯周病管理の意義 —
15:00~15:10	休憩
15:10~16:00	SRP 公開セッション — 天野先生と臨床を深掘る 50 分 —

ミントセミナーインストラクターによる公開質問



中川 優里奈
「バイオフィームの病原性を見極め方について」



新開 真歩
「“磨けている”のに治らない、DH としての再評価視点」



中川 智子
「歯周病は安定しているのに血糖値は下がらないケースについて」

<https://mint-seminar.com>

お申し込みは、ホームページより受け付けております。
セミナーに関する詳しい情報やお問い合わせはホームページをご覧ください。
ホームページより会員登録・お申し込みいただくとセミナー受講後、受講料の 5% をポイント還元いたします。

✉ info@mint-seminar.com ☎ 06-7506-6520・090-9272-7318

NDL mint-seminar 2026年8月発行

ミントセミナー

検索

お申し込み